

高崎商科大学・高崎商科大学短期大学部

SD 推進委員会

2021 年度 年間活動報告書

2022 年 3 月 31 日

《SD 推進委員》

委員長	鱒渕	一夫
委員	萩原	豪
委員	森川	幸紀雄
委員	鈴木	洋文
委員	内山	淳
委員	茂木	誠
委員	須川	和美
委員	清水	麻理子
委員	戸塚	陽介

## 1. はじめに

高崎商科大学 SD 推進委員会（以下「本委員会」と言う）は、平成 27（2015）年 4 月 1 日に施行された「高崎商科大学 スタッフ・ディベロップメント規程」に基づき組織されており、2021 年度の構成員は各部署よりまんべんなく専任職員 7 名が選出されている。また 2017 年度より SD に関する法令が制定されたことに伴い、昨年度に引き続き 2 名の専任教員（商学部 准教授、短大部 准教授）を構成員に加え、合計 9 名で活動を行っている。

同規程では、スタッフ・ディベロップメント（以下「SD」と言う）を「専任教育職員・事務職員を対象とした管理運営や教育・研究およびその支援までを含めた資質向上のための組織的な取り組み」と定義されており、以下の 4 項目について計画的、継続的に今年度も企画・運営が行われている。

- (1) 個人の能力向上に資する事項
- (2) 学内組織の業務改善、組織間の連携強化、知識共有に資する事項
- (3) 教職協働を図る教育・研究およびその支援に資する事項
- (4) 2021 年度活動目標「コーチング研修の実施による学生対応力UP」に資する事項

2021 年度の第 1 回 SD 推進委員会（2021 年 5 月 19 日に実施）において、上記 4 項目を確認後、委員会としての年度方針を次のとおり決定した。

- (1) 4 つのテーマに従い、学内 SD 研修会を年間 6 回、企画・運営する
  - ・教職協働（FD・SD 連携） (1 回)
  - ・他大学との共同 SD 研修 (1 回)
  - ・学内環境や社会課題の共有研修 (1 回)
  - ・大学や部署の取り組みを題材とした研修 (2 回)
  - ・組織管理・運営向上を目的とした研修 (1 回)
- (2) 新型コロナウイルス感染症の影響による外部研修機会減少に対して、当委員会よりオンライン形式での外部研修を職員一人当たり年間 1～2 回の個別参加を実施するとともに、自由参加のオンライン研修の参加を推奨する
- (3) 愛知東邦大学との人事交流研修会については、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、延期する
- (4) 年度末には年間報告書を作成し、ホームページより公表する

※「FD」とは「ファカルティ・ディベロップメント」の略

第 2 回目以降の委員会活動については、以下のとおりである。

第 2 回…2021 年度 SD 研修会実施報告、SD 研修会案を検討・進捗状況報告、個別研修の実施報告、オンライン研修提供システムについて確認

第 3 回…2021 年度 SD 研修会実施報告、2021 年度に実施する SD 研修会案を検討・進捗状況報告、オンライン研修提供システム実施状況報告、2021 年度委員会活動目標振り返り、新規個別研修案報告

第 4 回…2021 年度 SD 研修会実施報告、今年度の活動報告、次年度への申し送り事項

2021 年度に実施した学内 SD 研修等の詳細については「2. 2021 年度 事業報告」にて紹介する。また研修会開催終了毎に実施したアンケート調査の集計結果については「3. アンケート調査集計」にて紹介する。

**2. 2021 年度 事業報告**

## 《研修等》

2021 年度は年間を通して 6 回の学内 SD 研修等を企画・実施した。新型コロナウイルス感染症収束が見通せない等、様々な影響がある中で昨年度の経験を活かしつつ、授業方法の対応、学生への心的不安を含めた学生対応方法の検討等を継続しつつ、教職員研修においてもオンラインを活用し、要所を捉えた研修会テーマ設定にて実施。他者への理解を深めコミュニケーション能力の向上を図る研修や、社会の変化とともに発展的な行動を促す研修など、研修に参加して理解するだけでなく、そこから次を考えるきっかけになるような参加型・思考型の方法を多く取り入れた。昨年度実施できなかった他大学との共同 SD もオンライン形式にて実施するなど新しい形を取り入れた研修会が増えたことも今年度の研修会全体の大きな特長だと言えるだろう。

今年度も事務職員対象だけではなく、専任教育職員も対象とした管理運営や教育・研究およびその支援までを含めた資質向上のための組織的な取り組みについて意識しており、研修会内の質疑応答では教育職員ならではの質疑が寄せられたことは特筆すべきことだと言える。

以下に記載する研修は教育職員・事務職員を対象とした SD 研修会と教職員全員参加を対象とした FD・SD 合同研修会が混在している。また、本委員会による企画とは別に、部署やチームによる独自研修会についても報告する。

## ① 「コーチング研修について」

実施日：2021 年 7 月 28 日（水）13：00～14：00

参加者：26 名（対象者 60 名 参加率 43.0%）

他法人職員など 7 名、特任教員 1 名、高崎商科大学附属高校 1 名 計 35 名

講師：ホット・コミュニケーションズ 茂木 祐一 氏

内容：「コーチング」について基本的な考えだけでなく GROW モデル等ワークショップ型の体験型学習研修にて、群馬を中心に活動しているホット・コミュニケーションズの茂木祐一氏より講義していただき、学生応対を中心とした学生への自発的行動への促しや職場内におけるモチベーションの向上等、本学の実学に沿った学びの場の提供や学習環境の提供について意識改革の場としてもらう。



## ② 高崎商科大学・別府大学合同 SD 研修会「仕事を楽しむ！ストレス発散研修」

実施日：2021 年 8 月 24 日（火）15：00～16：30

対象者：専任事務職員

参加者：25 名（対象者 27 名 参加率 92.6%）

他法人職員など 3 名、別府大学事務職員 18 名、計 46 名で実施

内容：「チームビルディングとコミュニケーションについて」「働き方について」「学生対応

【高崎商科大学・高崎商科大学短期大学部 SD 推進委員会  
について」と大きく3つのテーマに、8グループに分かれて意見交換を行うコミュニケーション型研修。すべてのグループの意見交換内容を報告レポートとして作成し、双方の大学にて今後の組織運営などの業務改善に役立てる。



③ FD・SD 合同研修会「経営改革計画・財務状況」

実施日：2021年9月8日（水）10：40～11：10

対象者：全教職員

参加者：60名（対象者60名 参加率100%）

他法人職員など5名、特任教員8名 計73名

講師：総務課 課長 松田 禎史、総務課 係長 内山 淳

内容：本学の経営状況を把握し、教職員としての経営視点を身に付ける。

④ 「目に見えづらい障害について」

実施日：2021年9月15日（水）14：00～15：00

参加者：46名（対象者60名 参加率76.0%）

他法人職員など6名、特任教員4名 計56名

講師：明星大学 発達支援研究センター研究員 岩本 友規 氏

内容：発達障害で悩む人たちをサポートする活動をされている岩本氏より、教員・職員自身の働き方やセルフマネジメント、在学生相談対応時への活用、就職相談や卒業後のフォロー等へ意識改革や事例等を理解してもらう。



⑤ 「私大協広報担当・小林功英氏が見た！あんな大学・こんな人について」



実施日：2021年11月17日（水）16：00～17：00

参加者：31名（対象者61名 参加率50.8%）

他法人職員5名、特任教員1名 計37名

講師：日本私立大学協会 小林 功英 氏

内容：様々な試みを実践する全国各地の大学を視察され、多くの大学活動に関する知識を有する小林氏を講師にお招きし、他大学等の取り組みや成功事例を参考にすることで、教育改革・経営改善を後押しする機会創出とする。



⑥ 「高崎商科大学を取り巻く環境」

実施日：2022年2月10日（木）13：00～14：30

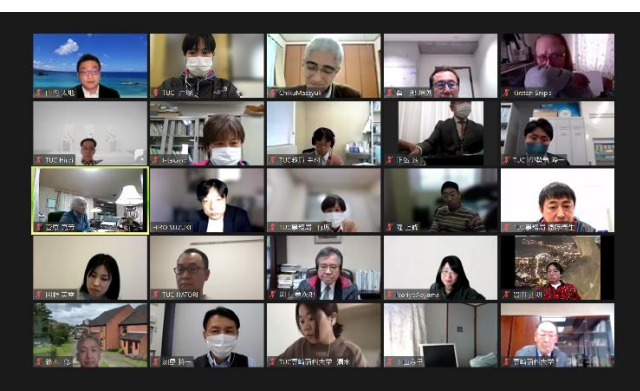
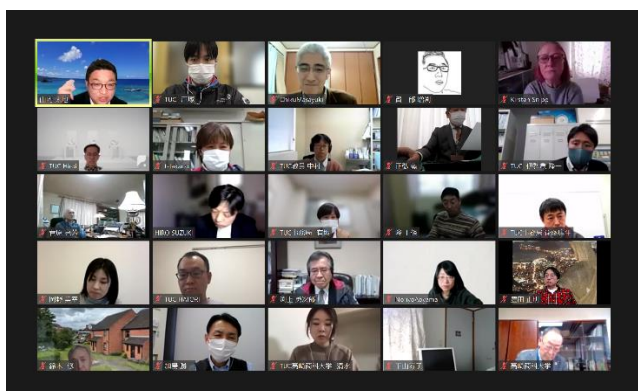
対象者：専任事務職員

参加者：38名（対象者61名 参加率 62.3%）

他特任教員4名、法人等職員6名、計48名

講師：山内 太地 氏（一般社団法人大学イノベーション研究所所長、大学研究者）

内容：大学研究者である山内氏を講師にお招きし、現状を共有することで、社会の変化とともに大学を取り巻く環境が変化していることを改めて参加者一人ひとりが理解し、発展的な行動を促す機会創出とする。



## ⑦ その他 部署内勉強会等

## 【個別の勉強会】

日時	内容	講師	部署 or 対象
2021/6/1	国会図書館デジタル送信サービスについて	図書館 高橋	図書館
2021/6/18	高等教育における脳の多様性 (筑波大学 DAC センター主催 FD/SD 研修会任意参加)	筑波大学 DAC センター	総務課+学生グループ
2021/7/8	コストイノベーションと大学における 購買活動の DX 推進と Amazon ビジネス の活用	Amazon ビジネス セミナー	総務課
2021/8/6	令和 3 年税制改正～電子帳簿保存法 ～の概要と留意点	ミロク情報サービス セミナー	総務課
2021/11/5	就職・キャリア支援担当者セミナー	株式会社ディスコ	キャリアサポート室
2021/12/17	新学習指導要領スタート直前先取り オンラインセミナー	豊島継男事務所×アロー教育 総合研究所	広報・入試室
2021/12/17	時間割作成について	教学課 遠藤	教務グループ
2021/12/17	コーチングについて	教務グループ 富所	教務グループ
2021/12/17	Haul-A プロジェクトについて	教務グループ 青木	教務グループ
2021/12/17	大学新カリキュラムについて	教務グループ 宮寺	教務グループ
2021/12/17	Adobe XD について	教務グループ 進藤	教務グループ
2022/1/19	留学生就職支援セミナー	株式会社ソーシャライズ・ 中村拓海 他	キャリアサポート室
2022/1/21	和歌山大学キャリアセンター視察	和歌山大学キャリア センター	キャリアサポート室 (川又)
2022/2/28	高崎経済大学 公開講座運営を参考に 次年度公開講座の展望	地域連携センター 伊勢亀	地域連携センター
2022/3/5	人事考課制度研修会	学校法人高崎商科大学 法人本部	学校法人高崎商科大学 第 1 次考課者以上の者
2022/3/5	読み書きメディアの認知科学 (県大 学図書館協議会主催 研究会)	群馬大学情報学部教授 柴田博仁	図書館

## 《その他の取り組み》

SD 研修の企画・運営以外では、以下の項目について取り組みを実施した。

## ① 2021 年度以降に向けた本委員会活動の見直し

今年度は、SD 推進委員会として個々の職員に対して能力開発、能力向上に対する機会を設け、それぞれの自己啓発活動、部署やチームによる研修への意識が高まった年となった。今後は今年度新たに実施した外部研修制度の調査結果分析を行い、個々の能力開発についてより特化し

た提案も視野に入れた組織を目指したい。

② 外部団体主催の外部研修システムへの参画

新型コロナウイルス感染症の影響による外部研修機会減少に対して、今年度は個々の事務職員の能力開発・能力向上に対する組織運営強化を軸としたオンラインによる外部研修（大学SDフォーラム：日本能率協会）を実施した。職員一人当たり年間1～2回の参加を当委員会より職員別に決定し、出張等で外部へ赴くことがなくても学内にて他大学の参加者と共に知識共有や能力開発創出の機会を設けることができたことで、組織運営強化だけでなく、より働き方改革にも関連した取り組みとなった。

③ 他大学との共同SD研修会開催

他大学との共同SD研修会をオンラインにて実施することができた。遠方の他大学職員とコロナ禍において、学生対応や相談窓口の設定、地域を中心とした様々な活動の継続について、立地環境等が似ている他大学職員と意見交換できたことは、今後の他大学との研修機会や意見交換の可能性として大いに意義があり、今後の情報収集及び運営体制の見直しを継続的に実施し、より良い研修企画・運営に努めていく良い機会となった。

④ アンケート調査の実施

※アンケート調査の集計結果及び分析については「3. アンケート調査集計」を参照

### 3. アンケート調査集計

今年度は個々の研修等開催終了後アンケート調査を行い、より研修に対する考えが新しい中でWebによるアンケート調査を実施した。以下にアンケート質問内容と集計結果を報告する。

《研修アンケート質問内容》 全3問

- 問1. 本日参加したSD研修会について、『満足度』を教えてください。
- 問2. 本日参加したSD研修会について、業務への向き合い方や意識の変化等がありましたか。
- 問3. 本日参加した研修会について、感想やご意見、講師への質問など、自由にご記入ください。（全体的なことでも可）。

《セミナーアンケート質問内容》 全6問

- 問1. 参加したセミナーについて、『満足度』を教えてください。
- 問2. 参加したセミナーを通して、業務への向き合い方や意識の変化等がありましたか。
- 問3. 今回参加していただくセミナーについて、事前にSD推進委員会にて決めさせていただきました。参加するセミナーの選択について、どのような方法が良いと思いますか。
- 問4. 今後も外部団体主催のオンライン外部研修に参加したいと思いませんか。
- 問5. 他大学等の外部の職員との研修について、今後も参加したいと思いませんか。
- 問6. 参加したセミナーについて、感想やご意見、自由にご記入ください（全体的なことでも可）。

《アンケート集計結果》

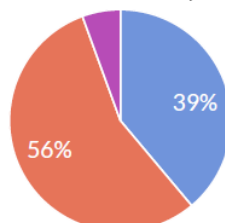
▼ 「7月28日実施 SD研修会について」 有効回答数：18件（回答率62%）

- 問1. 本日参加したSD研修会について、『満足度』を教えてください。

大変ためになった	7名
ためになった	10名
あまりためにならなかった	0名
ためにならなかった	0名
どちらともいえない	1名

■ 大変ためになった ■ ためになった ■ あまりためにならなかった ■ ためにならなかった ■ どちらともいえない

選択人数：回答率 62% (18 / 29人)

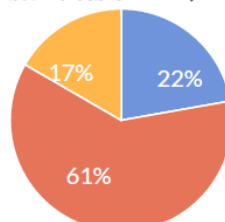


問2. 本日参加した SD 研修会について、業務への向き合い方や意識の変化等がありましたか。

変化等があった	4名
多少の変化等があった	11名
あまり変化等があったとはいえない	0名
変化等があったとはいえない	0名
どちらともいえない	3名

■ 変化等があった ■ 多少の変化等があった ■ どちらともいえない ■ あまり変化等があったとはいえない ■ 変化等があったとはいえない

選択人数：回答率 62% (18 / 29人)



問3. 本日参加した研修会について、感想やご意見、講師への質問など、自由にご記入ください (全体的なことでも可)

14 件回答中、一部抜粋

- ・ 文脈に影響されずに質問をされる経験は初めてでしたが、自分の中では新たな文脈がつけられることで気づきが生まれる経験をしたので非常に新鮮でした。これはどこかで活用したいです。
- ・ オンライン研修だとなかなか他の参加者の意見が聞けないことが多く、また対話できる機会も少ない為、直接、人と意見を交換しあうことの重要性を再認識しました。また、フォローアップを実践してみて、自分の現状や目標を具体的に口に出して発することで、自分の中の現状や課題が具体性を増すことを強く実感できました。
- ・ GROW モデルなど、そのまま実践できる方法を知る事ができた事や基本的な事に立ち返って考える時間になったのはとても貴重な時間でした。

▼ 「9月15日実施 SD 研修会について」 有効回答数：20 件 (回答率 69%)

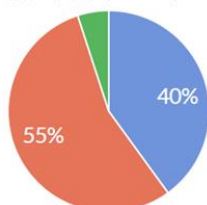


問1. 本日参加したSD研修会について、『満足度』を教えてください。

大変ためになった	8名
ためになった	11名
あまりためにならなかった	0名
ためにならなかった	1名
どちらともいえない	0名

■ 大変ためになった ■ ためになった ■ あまりためにならなかった ■ ためにならなかった ■ どちらともいえない

選択人数：回答率 69% (20 / 29人)

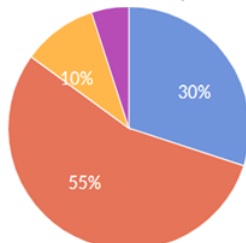


問2. 本日参加したSD研修会について、業務への向き合い方や意識の変化等がありましたか。

変化等があった	6名
多少の変化等があった	11名
あまり変化等があったとはいえない	0名
変化等があったとはいえない	1名
どちらともいえない	2名

■ 変化等があった ■ 多少の変化等があった ■ どちらともいえない ■ あまり変化等があったとはいえない ■ 変化等があったとはいえない

選択人数：回答率 69% (20 / 29人)



問3. 本日参加した研修会について、感想やご意見、講師への質問など、自由にご記入ください  
(全体的なことでも可)

17 件回答中、一部抜粋

- ・ 学生のうちは不適応なところから離れる（逃げる）ことができるが、就職すると離れられないという話は大変印象的で、卒業後の進路については、より慎重な対応が必要だと実感しました。
- ・ 心のメタ認知の話以降が特に参考になった。これらを知っている、だけではなく、つかえるようにならなくてはならないと思う
- ・ 心を心で想う、という先生の言葉が印象に残っています。相手の目に見えない部分まで思いを馳せることは労力が必要で、頭で考えたことだけで淡々と業務をこなしてしまい、想うことを怠っていることがあると気づかされました。日々の業務に忙殺されることなく、一旦立ち止まって、想うことを忘れずに学生対応にあたりたいと思います。

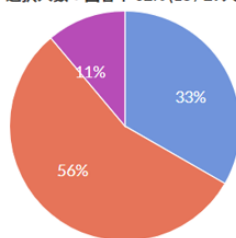
▼ 「11月17日実施 SD研修会について」 有効回答数：18件（回答率62%）

問1. 本日参加したSD研修会について、『満足度』を教えてください。

大変ためになった	6名
ためになった	10名
あまりためにならなかった	0名
ためにならなかった	0名
どちらともいえない	2名

■ 大変ためになった ■ ためになった ■ あまりためにならなかった ■ ためにならなかった ■ どちらともいえない

選択人数：回答率 62% (18 / 29人)

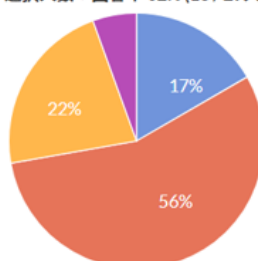


問2. 本日参加したSD研修会について、業務への向き合い方や意識の変化等がありましたか。

変化等があった	3名
多少の変化等があった	10名
あまり変化等があったとはいえない	0名
変化等があったとはいえない	1名
どちらともいえない	4名

■ 変化等があった ■ 多少の変化等があった ■ どちらともいえない ■ あまり変化等があったとはいえない ■ 変化等があったとはいえない

選択人数：回答率 62% (18 / 29人)



問3. 本日参加した研修会について、感想やご意見、講師への質問など、自由にご記入ください  
(全体的なことでも可)

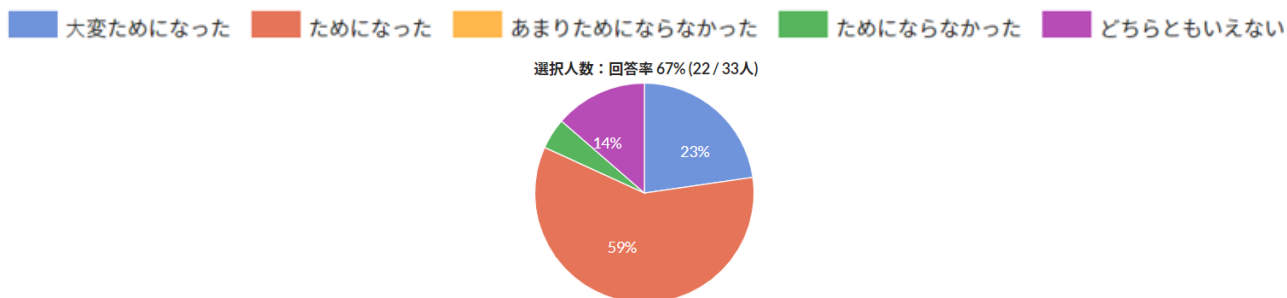
10 件回答中、一部抜粋

- ・ 様々な大学の取り組みを紹介していただき、「できることはまだまだたくさんある」と感じました。また一方で、取り組みが大学全体としての方向性や目標の中で占める意味合いをきちんと理解して行う必要も感じました。部分最適が結果として全体最適につながらないかもしれないという視点です。とはいえ、「やろう」という気持ちは自分事化の第一歩なので、大事にしたいです。
- ・ リカレント教育や地域貢献の事例紹介が参考になった。
- ・ 特徴のある他大学の状況が知れてためになった。遺産連携という言葉が新鮮で、今後の展開として検討を進めていきたい。

▼ 「外部団体オンライン研修 アンケート」 有効回答数：22 件（回答率 67%）

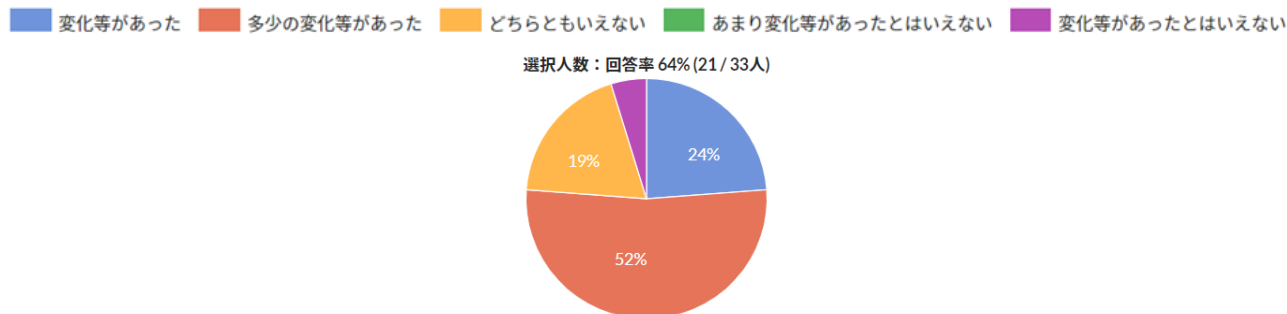
問1. 参加したセミナーについて、『満足度』を教えてください。

大変ためになった	5 名
ためになった	13 名
あまりためにならなかった	0 名
ためにならなかった	1 名
どちらともいえない	3 名



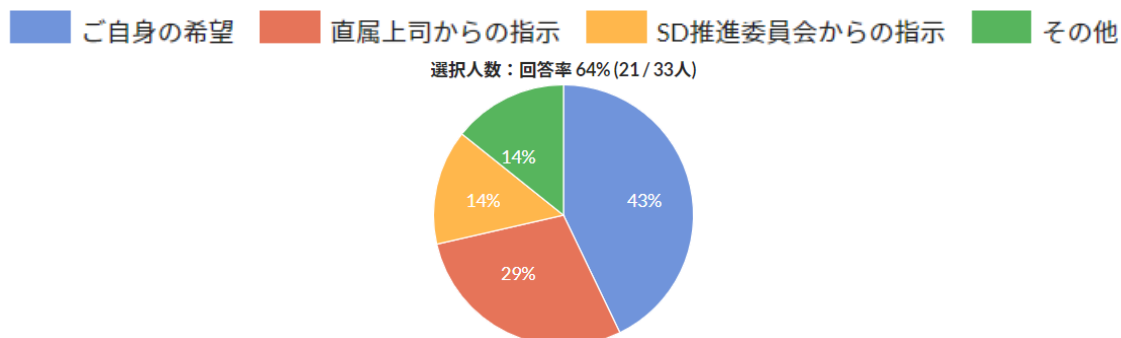
問2. 参加したセミナーを通して、業務への向き合い方や意識の変化等がありましたか。

変化等があった	5 名
多少の変化等があった	11 名
あまり変化等があったとはいえない	0 名
変化等があったとはいえない	1 名
どちらともいえない	4 名



問3. 今回参加していただくセミナーについて、事前に SD 推進委員会にて決めさせていただきました。参加するセミナーの選択について、どのような方法が良いと思いますか。

ご自身の希望	9 名
直属上司からの指示	6 名
SD 推進委員会からの指示	3 名
その他	3 名

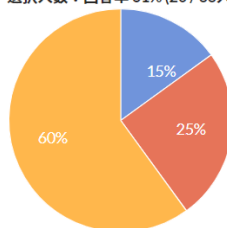


問4. 今後も外部団体主催のオンライン外部研修に参加したいと思いますか。

ぜひ参加したい	3名
参加したい	5名
セミナーの内容による	12名
どちらとも言えない	0名
あまり参加したいとは思わない	0名
全く参加したいと思わない	0名

■ぜひ参加したい ■参加したい ■セミナーの内容による ■どちらとも言えない ■あまり参加したいとは思わない ■全く参加したいと思わない

選択人数：回答率 61% (20 / 33人)

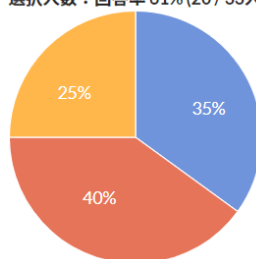


問5. 他大学等の外部の職員との研修について、今後も参加したいと思いますか。

ぜひ参加したい	7名
参加したい	8名
セミナーの内容による	5名
どちらとも言えない	0名
あまり参加したいとは思わない	0名
全く参加したいと思わない	0名

■ぜひ参加したい ■参加したい ■セミナーの内容による ■どちらとも言えない ■あまり参加したいとは思わない ■全く参加したいと思わない

選択人数：回答率 61% (20 / 33人)



問6. 参加したセミナーについて、感想やご意見、自由にご記入ください  
(全体的なことでも可)。

9件回答中、一部抜粋

- ・ オンラインの導入で移動時間や移動に伴う負担はなくなったが、事前学習が必要となった。○日から○日までのように案内されているため、時間があるときに取り組もうと考えていると他の対応（特に学生対応）で時間が取れない場合がある。事前学習も日程を決めて、部署内において出張者と同様の認識で準備する必要があると感じた。
- ・ 今年度は行事の関係上、当初予定されていたセミナーとは別セミナーの参加となった。現在の業務とは少し離れた内容であったが、研究部門の新たな動き、取り組みを知る機会となり、勉強になった。
- ・ 業務の振り返りやこれから先に身に付ける必要のある業務スキル修得のための研修はもちろん重要かと思いますが、出来る限り多くの職員が他大学や外部の人と情報交換できる場がさらに

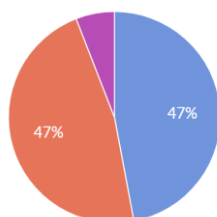
あると良いと思います。

▼ 「2月10日実施 SD オンライン研修 アンケート」 有効回答数：34件（回答率45%）

問1. 本日参加したSD研修会について、『満足度』を教えてください。

■ 大変ためになった ■ ためになった ■ あまりためにならなかった ■ ためにならなかった ■ どちらともいえない

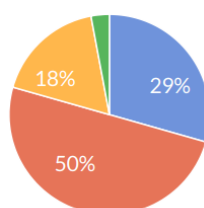
選択人数：回答率45% (34 / 75人)



問2. 本日参加したSD研修会について、業務への向き合い方や意識の変化等がありましたか。

■ 大変ためになった ■ ためになった ■ あまりためにならなかった ■ ためにならなかった ■ どちらともいえない

選択人数：回答率45% (34 / 75人)



問3. 本日参加した研修会について、感想やご意見、講師への質問など、自由にご記入ください。  
(全体的なことでも可)

21件回答中、一部抜粋

- ・ 少子化が進む中で本学がこれからどのようにしていくべきなのか具体的なお話を聞くことができ大変勉強になりました。
- ・ 講師を通して、他大学全体の傾向が見れてとても参考になりました。
- ・ 本学らしい教育を追求していく方向性は間違っていなかったと感じた。引き続き選ばれる大学として教育力を上げていきたい。

【集計結果全体に対するコメント】

2021年度に実施した学内SD研修会については、昨年度に引き続きコロナ禍での開催となり、対面と遠隔のハイブリッドでの開催がスタンダードになった。各参加者からも一定の満足感と開催内容についての意見を多く寄せられ、新しい研修の形を分析していくことが必要になっていくことが本アンケート調査によって確認できた。SD研修会を通して、業務への向き合い方や意識の変化について、「気づきが生まれる経験をしたので非常に新鮮でした。」や「オンライン研修だとなかなか他の参加者の意見が聞けないことが多く、また対話できる機会も少ない為、直接、人と意見を交換し



あうことの重要性を再認識しました。」等、様々な環境の中で新しい個人の能力向上につながるきっかけや新たな課題に気づく声が多くあった。

今年度より新たに実施した外部団体主催の「オンライン外部研修」では参加して良かった部分と問題提起にも繋がり、オンライン開催でのメリットだけではなく、研修内容にも注視した実施が今後運用していくうえで課題として受け止めるとともに、自己啓発へのきっかけにつながる部分は大いに活用する必要がある。

最後に、アンケート収集した感想や意見、満足度等から受講型のセミナーだけでなく、インプットした知識を使った意見交換の場の提供や状況に応じた対面研修の企画も今後必要性が求められる。また、昨年度のアンケート結果にも記載があった他大学の交流や私大協の研修等、日頃の環境では得られない交流についても次年度検討の際、コロナ禍での研修企画検討の中で意見を参考に内容を精査していきたい。

#### 4. まとめと次年度計画

##### 《まとめ》

本委員会における主たる業務は「高崎商科大学 スタッフ・ディベロップメント規程」に基づき、以下の4項目となる。

- (1) 個人の能力向上に資する事項
- (2) 学内組織の業務改善、組織間の連携強化、知識共有に資する事項
- (3) 教職協働を図る教育・研究およびその支援に資する事項
- (4) 2021年度活動目標「コーチング研修の実施による学生対応力UP」に資する事項

本委員会は発足して7年目を迎えた。今年度も昨年度の活動を基に、年度末のアンケート結果を踏まえ、改善を行いつつ活動を展開してきた。

(1)と(2)については学内SD研修会やそれぞれの職員による自己啓発活動、部署やチームによる研修により担保し、(3)については、FD・SDの枠に捉われない研修会の実施、FD推進委員会との共同企画による研修会の継続的实施、そして本委員会の構成員に大学准教授、短大准教授を加えることによって担保してきた。また、(4)については、「2. 2021年度 事業報告」に記載の通り、①コーチングについての研修を実施することで担保した。アンケート結果からも高い満足度を得たが、今後もさらに研修内容を検証・改善し、主体的・対話的で深い学びのある授業や各種学生相談業務に生かせるよう継続的なコーチングに関する研修実施を検討していきたい。

委員会としての主な活動内容は、研修会の企画及び実施であり、この7年間の活動を通じて個人の自己啓発意識の高まりや部署単位あるいは目的を共にしたチームによる自発的研修会が実施されるなど一定の成果も見られ、及第点であると考えている。今後は社会の変化とともに大学職員として必要な能力の分析ならびにその開発、向上に資する研究をする機関としての活動や教職員の採用・退職における知識の標準化を図る為、グループ化した研修の枠組み開発も視野に入れたい。

##### 《次年度計画》

2021年度は、2020年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響により、引き続き試行錯誤しながらの活動であった。また、前年度の教訓から全体研修日程についても、例年より繁忙期をさけながら計画的に開催することができた。2022年度も引き続き今年度と同様可能な限り早期に年度方針及び研修計画を立案し、研修スケジュールを打ち出していく。

以上